

普及だより

第152号

発行

八重山農林水産振興センター
農業改良普及課沖縄県石垣市真栄里438-1
Tel 0980-82-3497 Fax 82-4142

与那国駐在

Tel 0980-87-2354(代)

令和2年度農事功績者表彰

仲松益實、須磨子夫妻が緑白綬有功章を受章

令和2年度農事功績者表彰の伝達式が八重山合同庁舎で行われ、仲松益實、須磨子御夫妻が緑白綬有功章(りょくはくじゅ ゆうこうしょう)の伝達を受けました。

農事功績者表彰は、公益社団法人大日本農会(明治14年設立)の事業の一つとして行われ、本年の農事功績表彰者は、全国で65名、県内からは、農事改良等への功績が顕著な者に贈られる緑白綬有功章を仲松益實、須磨子御夫妻が受章しました。

御夫妻は、長年にわたりハーベスターのオペレーターやさとうきび原料委員を務め、ハーベスターの機械改良の提案により機械作業性の改善等の地域への貢献や沖縄県初の農業経営改善計画の夫婦連名による共同認定を受け、農山漁村社会参画のベストパートナー賞を受賞するなど女性農業者の経営参画・社会参画への貢献が評価され受章に至りました。

例年11月に総裁秋篠宮皇嗣(こうし)殿下のご臨席の下、東京で挙行されている表彰式が新型コロナウイルス感染症の終息がみられないこと等を鑑み中止となり、石垣島での伝達式となりました。

「苦しいこともありましたが、このように評価されたことは大変光栄です。また、地域の人たちに直接報告できた事が嬉しい」とご夫婦から喜びの声が聞けました。



左:農事功績者表彰伝達式
右上:長嶺農林水産部長表敬
右下:中山石垣市長表敬

(担当:小橋川)

令和2年度 沖縄県農林漁業賞 1個人、2集団が受賞

令和2年度「沖縄県農林漁業賞」は7部門で9個人、4集団が受賞され、八重山管内では農産部門で水稻・さとうきび生産者の仲新城長公氏（石垣市）、園芸部門でJAおきなわ八重山地区営農振興センターオクラ生産部会（部会員103名、部会長：東内原辰雄氏）、農山漁村地域活性化部門で細崎さわやか生活改善グループ（会員3名、代表：大城由美氏）が受賞されました。

仲新城長公氏（農産部門）



仲新城長公氏は、戦後まもなくから70年にわたり水稻とさとうきび生産に貢献され、丁寧な栽培管理によって高単収、高品質を維持し続けてこられました。平成5年の岩手県の大冷害の際には地域の中心となり水稻種子緊急増殖事業に取り組み、事業を成功に導きました。

また八重山地域の水稻部会3組織を統合した現在の水稻生産部会の立ち上げに熱心に関わり、組織活動の礎を築くことに尽力されたこと、そして今もなお同組織の相談役として地域の後継者育成にも貢献されている姿勢が評価されました。（担当：大前）

JAおきなわ八重山地区営農振興センターオクラ生産部会（園芸部門）

JAおきなわ八重山地区営農振興センターオクラ生産部会は「県内で最も早く出荷できる産地」としてオクラのブランド化に向け栽培技術の改善や品質の向上を図り、市場からも高い評価を得ています。これまで部会員が一丸となり、周年を通して高品質、安定供給産地づくりに意欲的に取り組んできた姿勢が評価されました。

（担当：安次富）



写真左から友利哲彦支部長、米盛ミチ子副部会長、東内原辰雄部会長、美里清矩園芸協議会会長

くぼざき

細崎さわやか生活改善グループ（農山漁村地域活性化部門）



昭和58年にグループを結成。「塩蔵もずく」を商品化し、平成2年に「もずく加工部」を立ち上げ販売を開始しました。平成18年に竹富町小浜島港ターミナル内に「くぼ屋あ」を開業し、地元水産物の加工品や手工芸品等の受託販売に取り組み、竹富町物産公社と連携し「島土産」の開発や販路拡大に尽力しました。平成17年度「食アメニティ・コンテスト」優良賞、平成20年度「農山漁村女性チャレンジ活動表彰」優良賞を受賞しました。

平成22年度「沖縄、ふるさと百選」（生産部門）に認定され、小浜島における農漁村女性のリーダー的組織として活躍し、農漁村女性の地位向上にも寄与するなど、地域への貢献度が高くこれまでの活動が評価されました。（担当：白玉）

令和2年度沖縄県青年農業者会議

東内原航太さんが最優秀賞受賞!!

東内原航太氏
前列左

11月13日に那覇市で開催された令和2年度沖縄県青年農業者会議のプロジェクト発表の部において、石垣島ファーマーズクラブの東内原航太氏が最優秀賞に選ばれ、令和4年度に福岡県にて開催される九州・沖縄地区青年農業者会議への出場が決まりました。東内原氏は、「ダニを雇って害虫退治」と題して発表。ゴーヤー栽培における天敵利用に挑戦し、勉強会や検証等を通して、現在ではゴーヤーにおける天敵利用の先進農家となりました。また、普及性、実用性、啓発性のある取り組みである点が審査員に評価されました。(担当:友寄)

沖縄県畜産共進会枝肉部門(肉牛の部) 「優秀賞1席」八重山地域2年連続獲得

令和2年度第46回沖縄県畜産共進会枝肉部門(肉牛の部)において、石垣市名蔵の農業生産法人(有)ヤイマ・ブリーダー・ランチが出品した枝肉が最高賞に当たる「優秀賞1席」と特別表彰の「沖縄県知事賞」を獲得しました。石垣からの出品牛で優秀賞1席を獲得したのは昨年の新里朋矢氏に引き続き2年連続となりました。販売価格は1kg当たり8,888円で、過去最高額の6,100円を2,788円上回った。枝肉成績は下表のとおりです。

同部門は、県内の種雄牛を父に持つ生後30ヶ月未満の去勢肥育牛のみを対象としています。八重山からは5頭の出品がありました。(担当:長坂)

性別	血統			出生地	出荷月令	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚さ	歩留基準	BMS
	父	母の父	祖母の父							
去勢	珠美乃花	美国桜	安茂勝	黒島	29.5	564kg	90%	9.8%	78.9%	12



第14回沖縄県防災農業賞

石垣島Fruit組合と野原正次・ゆかり夫妻が受賞

令和2年度「防風林の日」関連行事において「第14回沖縄県防災農業賞」を、組織の部で石垣島Fruit組合(代表:伊志嶺雅也氏:組合員5戸)、個人の部で野原正次・ゆかり夫妻が受賞しました。石垣島Fruit組合は、マンゴー生産農家で構成され、平成25年の設立当初に整備したハウスの周辺に防風林としてイスノキ、テリハボク、ハイビスカス、オオギバショウ等を植栽し、他の果樹栽培農家の模範的モデルとなっています。野原夫妻は25年前から1.5haの熱帯花き農園の環境整備としてアレカヤシ・オオギバショウ・クロトンをほ場の周辺等に植栽し、暴風対策と土壌流出防止対策をとっています。防風林を多面的に活用し環境負荷を少なくした持続可能な花卉生産への取り組み等が評価されました。(担当:大前)



伊志嶺雅也氏(前列左から3人目)
野原ゆかり氏と長男の亮太氏
(前列左から4,5人目)

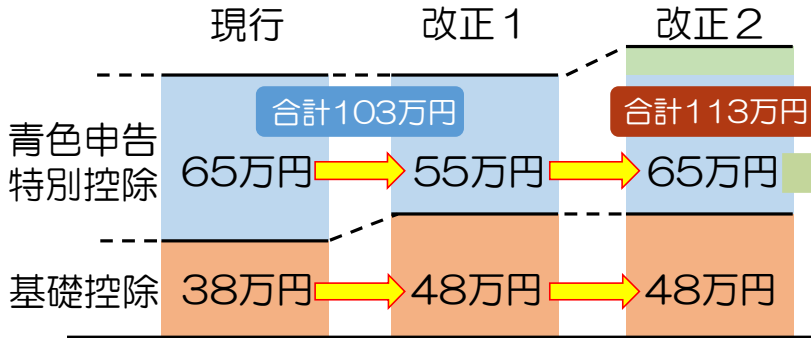
令和2年分所得税確定申告から

○確定申告期間
令和3年2月16日～4月15日

青色申告特別控除額

基礎控除額

が変わります！



青色申告特別控除65万円を受ける要件(+10万円)

現行の65万円控除を受けている方は、追加で以下のいずれかを実施する必要があります。

- ①e-Taxによる申告(電子申告)
- ②電子帳簿保存

※②電子帳簿保存

一定の要件の下で帳簿を電子データのままで保存できる制度。

適用を受ける場合は、制度開始する3カ月前までに税務署に提出が必要。

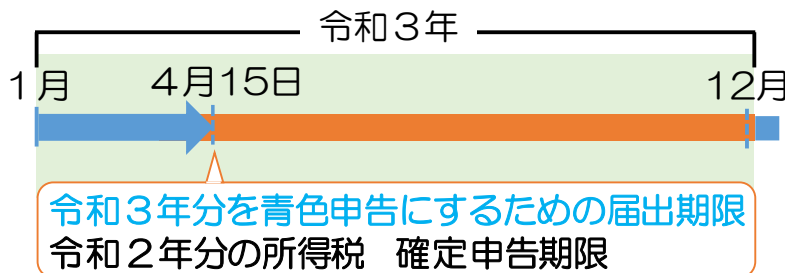
担当：小橋川

～10万円控除の青色申告に挑戦しよう！～

①青色申告を始めるには

青色申告はいつでも自由にできるものではなく、税務署に対して「**青色申告承認申請書**」を提出し、それが認められる必要があります。

- ・開業日から2ヵ月以内
- ・白色申告から青色申告に変更する人は、青色申告を行う年の**3月15日**が期限
- ※来場者の分散を図る目的で**4月15日**まで期間延長



令和3年分の
所得税確定申告期限

青色事業専従者給与

事業主が生計を一にする配偶者そのた親族に給与等を支給し、給与を必要経費に計上する場合は、「**青色専従者給与に関する届出書**」と「**源泉所得税の納期の特例の承認に関する申請書**」を提出する必要があります。

②申告の帳簿記帳 自分に適した方法で申告しましょう

- ・農業簿記ソフト
- ・JAの「記帳代行」
- ・クラウド会計



※データの連携で自動入力を行う機能があり、インターネットバンキングの口座やクレジットカードと連携することで、使い方によっては大幅に入力の手間を削減できる。

所得税の青色申告承認申請書

青色申告承認申請書様式

水稻の害虫 コブノメイガに注意

昨年9月～10月に八重山で大発生したコブノメイガ、幼虫は稲の葉をくるりと巻いて食害しつつ潜んでいます。被害の甚だしい水田では食害で葉が真っ白になりました。コブノメイガは沖縄では越冬するため、今期も注意が必要です。しっかり対策をたてましょう。

効果的な対策

- ・畔草で越冬しているかも？畔草は刈りましょう(他の病害虫対策にも有効)
- ・箱剤にブイゲットフェルテラ粒剤等、コブノメイガ防除効果がある薬剤を使用
- ・発生が見られた場合は幼虫が小さいうちに薬剤散布 (担当:大前)



コブノメイガ成虫



コブノメイガ老齢幼虫



被害の激しい田

与那国町のさとうきび情報

与那国町の令和元/2年期製糖操業実績は、令和元年5月に発生した大雨被害による影響等により、**平均単収は3.9t/10a**となるなど、過去5ヶ年の実績を見ても**2番目に低い結果**となりました(表1)。

表1. さとうきびの生産実績推移

年期	H27/28	H28/29	H29/30	H30/31	R元/2
収穫面積 (ha)	127	112	107	107	109
単収 (kg/10a)	4,831	3,517	4,399	6,005	3,984
生産量 (t)	6,135	3,931	4,704	6,445	4,327

※沖縄県さとうきび及びび甘しゃ糖生産実績を基に作成。

令和2/3年期製糖操業日程等について

今期の製糖操業は新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、12月10日～翌年3月25日の日程で開始しており、収穫面積は**100.9ha**、平均単収が**4.5t**、生産量は**4,489t**を見込んでいます(令和2/3年期JAおきなわ与那国支店製糖操業説明会資料)。

図1. 過去5年期における作型別単収

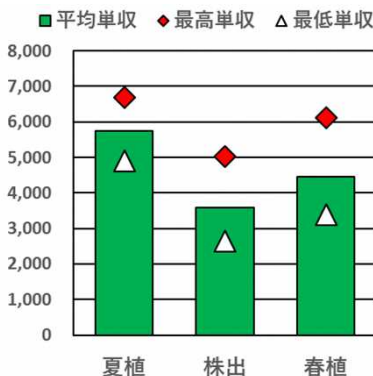


図1では過去5年期における作型別単収を示しています。近年では、平成30/31年期において**6t/10a**の平均単収実績を残しており、**茎重型品種**の植付面積も徐々に増加しているため、今後は単収の増加が見込まれます。

展示ほ・試験ほの実施と生育状況について



株出ほ場 (令和2年8月)



夏植ほ場 (令和3年1月)

現在、**緩効性肥料**を活用した株出・夏植栽培の試験を実施中です。結果は試験終了後に周知する予定です。

(担当:玉城)

圃場周辺の防風ネット設置とテグス利用によるカボチャでのクジャク被害回避技術について

石垣島のカボチャ生産地域では苗植付直後のクジャクによる新芽の食害が、カボチャ生産の阻害要因となっています。しかし鳥類に対する被害対策は、猟友会による捕獲・駆除以外有効な対策がないのが実情です。

そこで、下図のように圃場周辺に防風ネット（高さ1m）を設置し、テグス（20号）を圃場上面1mの高さに1.2~1.5m間隔で平行に展張する展示圃を2年間設置したところ、クジャクによる苗の食害被害が完全に回避できることが明らかとなりました。本展示圃を設置した農家さんからは、本技術により、カボチャを安定して生産できるようになったとの感謝の言葉をいただきました。今後の普及が期待されます。（担当：大城・安次富）



令和3年6月1日より！ ~HACCPの法制化完全施行へ~

食品の製造・調理・加工・販売を行う全ての事業者へ、「HACCP」が完全義務化になります。HACCPの考え方を取り入れた衛生管理に取り組むには、1. 衛生管理(一般衛生管理・重要管理)計画書作成。2. 作成した計画を実行。3. 実施したことを確認・記録することが求められています。基本的な考え方は共通しているが、業種によって取り組む内容が異なります。業種別HACCPの手引き書に準じた、原材料から製造・販売の工程等に沿ったリスク管理を行い、作業工程を最適化、見える化した、安全な製品の製造が求められています。

食品等事業者団体が作成した業種別手引き書等を活用して、個々の事業所に沿った様式を見つけて実践に取り組みましょう。

手引き書とは？

衛生管理計画の作成方法など解説されており、計画策定の見本や記録様式も記載されています。誰でも自由に使えます。

手引き書の入手方法

厚生労働省のホームページから【HACCP 業種別 手引き書】 【食品等事業者団体が作成した業種別手引き書 = HACCPの考え方を取り入れた衛生管理のための手引き書】から検索します。

=お知らせ=

令和3年6月1日から「食品営業許可制度が変わります」

主な変更点は

- ①営業許可業種の見直し ②営業届出制度の創設
- ③食品衛生責任者の設置対象施設の拡大

* お問い合わせは、八重山保健所生活環境班まで

農業改良普及課では、HACCPの取り組み方や食品衛生管理等の情報提供を行っております。手引き書の入手や実践、記録等についてお問い合わせください。（担当：白玉）